

■謝花昇 自由民権運動家。沖縄県初の高等官となるも、県知事奈良原繁と闘って挫折、精神に異常を来した。

じゃはなのぼる

薩摩藩士密航1865＝ 沖縄県島尻郡東風平村の農家に生まれる。

明治維新・ 1868＝ 3歳：

明治6年政変 1873＝ 8歳：

佐賀の乱・ 1874＝ 9歳：

秀才の名が高く、
明治14年政変1881＝16歳：
新体詩抄・ 1882＝17歳： 師範学校在学中、 選ばれて県費派遣生となり上京、
岩倉具視没・ 1883＝18歳： 学習院から、

東京農林学校を経て、

帝国憲法発布1889＝24歳：

足尾鉉毒始・ 1891＝26歳： *農科大(東大)を卒業。沖縄県技師となり、やがて沖縄で最初の高等官に昇進、階級打破の象徴として一世を風靡し、土地調査会や民法施行委員会に属して多面的な活動を開始したが、
大本教・ 1892＝27歳： 奈良原繁が県知事として赴任、その専制的な管理のもとに置かれ、
科学的農業技術の指導に加え、砂糖生産拡大の障害となっていた貢糖制度の廃止に尽力するとともに、台湾の糖業との競争を予測して、

日清戦争始・ 1894＝29歳：
白馬会・ 1896＝31歳： *「沖縄糖業論」を著して無料で配布するなど、努力を続けるが、柚山毒問題をめぐって、〈官地民木〉の名に隠れて農民の共有地を収奪しようとする奈良原と対立、〈民地民木〉を唱えるようになり、
子規句歌革新1898＝33歳： *大隈重信・板垣退助による、わが国最初の政党内閣が成立すると、上京して奈良原更迭を要請、それは容れられたが、内閣の瓦解で実現せず、県庁内で苦境に立ち、農工銀行常務を辞任して上京。
Bushidou・ 1899＝34歳： 在京の同志らと沖縄倶楽部を結成して{沖縄時論}を発行、沖縄で凍結されたままの国政参加を獲得する運動を展開、星亨や田中正造らに働きかけて、奈良原の暴政を暴き、選挙実施を獲得したが、
ビヲノ国産化・ 1900＝35歳： 農工銀行重役改選で、奈良原と癒着する旧支配層に完敗して同志が四散し組織は壊滅、
田中正造直訴1901＝36歳： *家産を使い果たして生活に窮し、職を求めて山口県におもむく途中、神戸駅頭で精神に異常を来し、
日露戦争終・ 1905＝40歳： 以後、回復することなく、

アラビヤ創刊・ 1908＝43歳： 郷里で病没した。